

第6学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主題 差別のない、支え合う社会をめざして

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

○人権獲得の歴史から人権を守ることの大切さや差別の不合理さについて理解させる。

○自他の人権を大切に、支え合って生きていこうとする態度を育てる。

○互いの考えを認め合い、自分の考えを伝える力を育てる。

4 指導計画

（1）これまでの学習

道徳科「権利ってなんだろう？」（ひかり）……………1時間

道徳科「自由な公園」（光文書院）……………1時間

道徳科「渋染一揆」（ひかり）……………3時間

道徳科「解放令」（ひかり）……………1時間

（2）現在の学習

道徳科「水平社運動」（ひかり）……………2時間（本時2/2）

（3）これからの学習

道徳科「識字学級と学習会」（ひかり）……………1時間

総合的な学習の時間

「人権コーラスグループ『たんぽぽ』さんとの交流」…2時間

5 本時の学習

（1）目標

水平社宣言を通して、差別された人々の差別解消への思いを考え、自他の人権を尊重し、互いの考えを認め合い、支え合って生きていこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C-（13） 公正、公平、社会正義
-------------	-------------------

（2）個別人権課題名 同和問題

（3）展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習課題を確認する。	○ 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてをつかむことができるようにする。
水平社宣言から差別をなくすために自分はどう生活していくか考えよう。	
2 水平社宣言の中で、一番印象に残った部分に線を引き、理由も含めて発表する。	○ 差別された人々の辛さや悔しさに共感させる。 ○ 先人への誇りや差別に負けない心の強さに注目させる。
3 宣言の最後の一文から水平社がめざした社会について考える。	○ 水平社が人を大切に、差別のない社会をめざしていたことを理解させる。①
4 差別のない社会をめざして、これからの自分の生活について考える。	○ 部落差別のような不合理な差別をなくすために自分はどう生活していくか考えさせる。②

（4）評価

・水平社宣言を通して、差別された人々の差別解消への思いを理解することができたか。

（知識的側面）①

・自他の人権を尊重し、他者と支え合って生活していこうとする意欲を高めることができたか。

（価値的・態度的側面）②